ポケットあわじvol.248　2023年３月号　発行日 2023年3月1日

特集 城と桜

ー淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶんー

月刊 ポケットあわじ 3月

春の陣 城攻め！桜攻め！

VOL.248

もくじ

P1・洲本城と桜 P2・岩屋城・城ノ瀬山 P3・志知城 P4・白巣城 P5・郡家川桜回廊ライトアップ
P6 淡路文化会館・淡路県民局・淡路くにうみ協会からのお知らせ　P7.8 淡路の文化活動・イベント情報

洲本城と桜

桜と大パノラマの絶景に出会える城

洲本のお城と桜といえば、やっぱり「洲本城」でしょう。洲本城は上の城と下の城がありますが、一般的にいう洲本城は三熊山にある上の城のことをいうようです。

大阪湾に面する標高133mの三熊山の山頂に築かれた洲本城は、戦国時代の1526年に淡路水軍を率いた安宅氏によって築かれたと伝わっています。安宅氏は羽柴秀吉の淡路攻めで降伏し、秀吉配下の仙石秀久が城主となりました。その後1585年、仙石氏に替わり脇坂安治が城主になり、今に残る総石垣の堅城に生まれ変わりました。

東西約800m、南北約600mにおよぶ広大な曲輪群は西日本で最大規模を誇り、秀吉の大阪城を守る城として大阪湾に睨みをきかせていました。

平成11年に国の史跡に指定され、平成29年には「続日本100名城」に選定されました。洲本城の御城印やスタンプは、下の城跡にある淡路文化資料館に設置されています。また昭和3年に建てられた模擬天守閣は、日本最古のものです。

城跡に植えられた桜の木も多く、桜の花が咲く季節になると多くの人が訪れて城跡と桜の花、景色などを楽しまれています。私も桜の花が咲く時期になると、必ずといっていいほど洲本城へ行っています。城跡から北側には洲本市街地や先山、遠くに北淡路の景色がよく見えます。また、南側の馬屋(月見台)からは紀淡海峡の景色がよく見えます。洲本城へ行って桜の花と城跡の広大な石垣など、そしてすばらしい景色をぜひ楽しんでもらいたいと思います。

洲本城へは本丸近くまで車でも行けますが、大浜公園から登山道を春の空気を吸いながら登って行くのがお薦めです。ゆっくり登っても30分くらいで本丸に到着します。

（応援隊：田処 壱久）

御城印・スタンプは淡路文化資料館で

南側馬屋から見る紀淡海峡

洲本市小路谷1272-2

岩屋城

明石海峡を睨む平山城跡。海に向かって張り出す舌状丘陵の先端に占地している。1610年に池田忠雄が淡路国を拝領したのに伴って築城された。石垣は残っていないが、現在でも方形の曲輪が現地に残っています。

「『味地草』には、「古城荘厳の時、外堀にして古川という。此の橋、」正徳2年(1712)7月17日大雨に流失後、水はけ悪しくとて石を築き、新川口と称す」とある。橋の上から見ると、岩屋古城の石を使った石垣が見える。」(引用　平成17年発行　淡路町誌)

左の写真はその茶間川の石垣に使われている石です。

「古城の山裾を進み右手に曲がったあたりが堂前坂(どんばの坂)である。岩屋城が城としての役目を果たしていたころ、ここは城山から続く小さな尾根で、城から屋敷(のちに藩邸・御屋敷)への連絡路があったか、防御線の役割をしていたのではないかと思われる。城としての役目を終えたあと、寛永年間に在番であった伏屋源兵衛が掘り崩して道を通し、堂前坂と呼ばれるようになったと伝えられる。」(引用　平成17年発行　淡路町誌)

この道を、令和の我々も使っています。300年以上経っている道に立っているなんて、なにかロマンを感じませんか！　　(応援隊:岡　まさよ、竹代　結)

岩屋城のあった場所は、
絵島から見上げた小高い丘の上

くねくねした
堂前坂は、
石屋神社の近く

岩屋古城ノ石を使った茶間川の石垣
(刻印が入っている)

岩屋城の近く 淡路島公園でお花見

天保絵図では「城山」

城ノ瀬山

自然豊かな城ノ瀬山
北淡路の丘陵地で物見の役をしていた古城蹟

昭和43年10月から北淡路大規模開拓パイロット事業が整備され、旧北淡町野島常盤の一番高い広大な丘陵地（通称六団地）が造成された場所にみかんなどが植えられていました。その造成地の頂上は昔から「城ノ瀬山」と呼ばれ、造成前は馬などが飼育されていたようです。城ノ瀬山は標高294mで北淡では3番目に高い山系です。江戸時代の天保絵図では城山と記され、この地からは四方八方を臨むことができ、中世の動乱期には物見の役目をしていたとも思われる古城蹟とされています。

昭和50年3月には六団地の頂上に四階建ての観光農林漁業経営管理所が整備され、屋上に登ると播磨灘、明石海峡、大阪湾、紀淡海峡などが眺望でき、重要な物見の場所であったことが想像されます。現在は近くに兵庫県立大学淡路キャンパス（兵庫県立淡路景観園芸学校）が建ち、若者や中高年の人たちが勉強されています。周辺には、緑豊かな丘陵地が広がり、春の桜をはじめ四季折々の草花が咲き誇り、パイロット道路を西進すると、花々のじゅうたんで知られる「あわじ花さじき」や桜並木が出迎えてくれます。歴史に触れ、おいしい空気をたくさん吸うと、明日への希望も一段と湧きだす感じがします。皆さまも一度楽しみませんか。

(応援隊　廣岡ひろ子)

城ノ瀬山から見える海は
昔も今も美しい

絶景！城ノ瀬山

今志知城跡に注目!!

内堀に囲まれた志知城

創建は鎌倉時代

堀の底から出てきた石垣の石

志知城守る会

お堀に沿って
植えられた桜が
年々成長中

軍師 黒田官兵衛が志知城に在城。その折、秀吉が腰をおろした石

南あわじ市志知
（マルナカ南あわじ店の道向かい）

「池の水ぜんぶ抜く大作戦」お宝発見!!

神戸鳴門自動車道、西淡三原ICから5分（1.8km）。マルナカ南あわじ店の前に看板発見。以前は大日川沿いの細い畑のあぜ道を入って行ってやっと案内板と石碑に至るという、地元の人さえ知らない、行ったことがないという「知る人ぞ知る」の城跡でした。しかし、創建は鎌倉時代。豊臣秀吉の頃は瀬戸内海に出る淡路水軍の重要な基地。城主は加藤嘉明。城内には「伝太閤石」（軍師黒田官兵衛が志知城に在城、その折、秀吉が腰を下ろしたと言われる石）も。

「本丸を広く取り囲むように外堀が残っていたが今は旧跡も見られず、石垣も確認されていなかった。」そんな地域の、淡路の、いや日本の歴史の宝をよみがえらせようと立ち上がったのが、「志知城守る会」。代表は関口功さん（68才）。メンバーは代々の土地の所有者と、志を同じくする福岡清さん（福岡造園会長）。城跡に誰でも入りやすくするために、手つかずだった竹林を切り開き、土地を整備。これは造園業の福岡さんのお手の物。今では30年前に植樹され大きく成長した桜の下で憩えるような広場に生まれ変わりました。春は桜、夏休みには住民を対象とした手作りの竹水鉄砲合戦の実施と、地域の交流の場としても存在感ＵＰ!!そして昨年10月には地元有志、ボランティア、南あわじ市埋蔵文化財調査事務所とによる「池の水ぜんぶ抜く大作戦」（TV東京）が行われました。500年以上も手つかずだったお堀の水が初めて抜かれ、古い石垣の石も発見。また、志知小学校の6年生と守る会とがタッグを組んで志知城跡に看板が製作設置され、人気のフォトスポットとなっています。

さらにお堀に沿って桜の若木が５本。昨年度の志知小学校の第2期卒業生による記念植樹です。今年度も行われる予定です。関口代表の夢は、お堀をぐるりと取り囲む桜が満開になって、地域の人々がそこで集うことだそう。近い将来の桜の名所になることは間違いなしです。

（応援隊：村上紀代美、川原雅代）

兵庫県指定史跡 白巣城

白巣城は戦国時代の山城で、淡路島の有力国人であった安宅（あたぎ）氏の居城であったといわれており、安宅八家衆の城のひとつに数えられています。天正9年（1581）に羽柴秀吉の淡路攻めの際に、秀吉軍の火攻めにより炎上し落城したと伝えられています。「竹の皮合戦」や「黄金の鶏」など落城時の伝説が今も地元で語り継がれています。

白巣城は、自然の地形をうまく利用して築かれており、縄張りの大きさは南北約350m東西約300mで、戦国時代の淡路島の城の中でも最大級の規模です。東は大阪湾、西は播磨灘を望見でき、瀬戸内海や大阪湾を往来する船を監視するには最適の場所。堀切、土塁、竪堀（たてぼり）などの遺構が良好な形で残っています。また本丸・東の丸・西の丸・米倉などが堀切などにより郭（くるわ）として独立しており、往時の姿を見ることができます。

実際に現地を訪れてみると、戦国の世を必死に生き抜いた当時の武将たちの生き様が垣間見えそうな気がしてきます。白巣城跡は、淡路島の戦国時代を語るうえで欠くことのできない、淡路島内を代表する山城です。

（応援隊：瀬戸　由美子）

山桜を眺めながら気軽に登山ができます。

安宅 冬秀公碑

【所在地】洲本市五色町鮎原三野畑
【資料提供】洲本市教育委員会

～白巣城伝説～

竹の皮合戦

秀吉軍が攻めてきた際に、城へと続く道に竹の皮を敷き詰めて足止めをしたが、竹の皮に火を付けられ城まで炎上した。

焼けた米

白巣城からは、焼けた米や麦が出土する。それを持って帰ると城主の祟りでお腹を壊すという。

黄金の鶏

落城の際、城主が家宝である黄金の鶏を立岩の下に隠し、自ら大蛇となって立岩に巻きつけ宝を守った。今も丑三つ時には、立岩の下から鶏の鳴き声がするという。

白巣城の近く 五色でお花見

都志川桜

薬師山夜桜

郡家川桜回廊ライトアップ

会場：淡路市多賀1255-1

問い合わせ先：くにうみ神話まちづくり実行委員会
委員長　柏木秀樹
℡090-8753-1594

郡家川沿いの両岸3ｋｍには、一千本近い桜が植えられています。その一部約200mで提灯が灯され、幻想的な雰囲気の中で催しが楽しめます。今年は、4月2日(日)に灯されます。『国生み神話』『香り』の町「一宮」にちなんで特別舞台では、「国生み太鼓」「創生国生み神楽」「伊弉諾音頭」吹奏楽部の演奏などが催されます。

近くの線香工房「薫寿堂」さんでのお線香作りは9時から19時30分まで一人500円、島外からのお客さんにも人気があります。

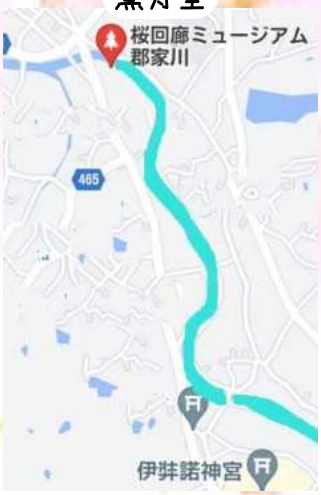
他に振舞イベント・ウォーキングラリーや人力車でおもてなしなど。コロナ禍の近年ですが200人余りの皆さんが春の一夜を楽しんでおられます。

郡家川一帯を桜の花でいっぱいにしようと、平成6年3月6日130人のボランティアが参加して植樹されたのが始まりです。ソメイヨシノの苗木を、両岸各3ｋｍに10m間隔で600本が植樹されました。その後、阪神淡路大震災復興事業、ふるさと創生事業などの助成を受けながら地域住民の方々がくにうみ神話まちづくり実行委員会を結成して桜の木を増やし、近年水仙や雪柳など桜が咲くまでの時期の楽しみを増やされています。楽しみにお越しください。

（応援隊：米田　静子）

※ 今年のイベントの詳細については、実行委員会にお問い合わせください。

薫寿堂



淡路文化会館からのお知らせ

【兵庫県からのお知らせ】この面に掲載の高齢者大学については、県の方針により、いっそうの講座の充実とより学びやすい講座とするため、令和６年度より 運営事 業者の選定を公募方式とし、学習期間や講座内容を変更する方向で現在検討中です。詳細は決まり次第お知らせします。　　お問合せ先：078 362 3894 兵庫県県民生活課

兵庫県淡路県民局からのお知らせ

マイナポイントに便乗した詐欺に注意してください

現在、マイナポイント取得のための予約・申込み手続きが行われていますが、マイナポイントに関連した詐欺が発生する可能性があることから、総務省、消費者庁から注意喚起がされています。

総務省や市役所職員が以下のようなことを行うことは、絶対にありません。

●マイナンバーや金融機関の口座番号、暗証番号、家族構成などの個人情報を聞く。

●通帳やキャッシュカードを預かったり、確認する。

●金銭を要求したり、手数料の振込みを求める。

被害にあわないために

●申込サイトにアクセスする時は、総務省のホームページが正確なURLかどうかを確認するようにしましょう。

●電話で、口座番号や暗証番号の話があった場合、金銭や手数料を請求された場合は詐欺を疑うようにしましょう。

●通帳やキャッシュカードは他人に渡さないようにしましょう。

淡路県民局交流渦潮室県民・商工労政課
（消費者センター）　☎0799-26-3360

(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

「淡路花祭2023春」開催

期間 3月18日(土)～5月28日(日)

島内花の施設で春の花々が楽しめるイベント「淡路花祭」が開催されます。

花咲き誇る会場へ是非お出かけください。

・花と緑の講演会(第6回淡路島くにうみ講座)

講 師 白砂伸夫氏（神戸国際大学教授）
日 時 3月25日(土)13:30～(要事前申込)
場 所 洲本市文化体育館
内 容 持続可能な花のまちづくりについて
※オープニングに齊藤花梨さんのサクソフォン演奏もあります

(申込フォーム)→

・淡路花祭インスタグラム

フォトコンテストの投稿を募集

テーマ「私が見つけた淡路島の花風景」

各花の施設のイベント情報や募集の詳細はこちら　→

淡路花祭HP

申込・問合わせ先：淡路花祭推進協議会事務局
(一財)淡路島くにうみ協会
電話：0799-24-2001 FAX：0799-25-2521
ホームページ：https://www.kuniumi.or.jp

インフォメーション

ご注意

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いします。

◆洲本市文化体育館

所 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17
☎0799-25-3321 F 0799-25-3325
休 火曜日(祝日の場合は翌水曜日休館)

洲本吹奏楽団 第37回記念 定期演奏会

第37回定期演奏会は～吹奏楽のフルコースで至フクのひとときをお届けします～
出演：洲本吹奏楽団
曲目：ウェークエンド・イン・ニューヨーク(P　・スパーク)、風紋(保科　洋)、ムーンライト・セレナーデ(G・ミラー)ほか
日 3月19日(日)　開場 13：30　開演 14：00
会 文化ホール『しばえもん座』
¥ 無料　※全席自由(感染状況で変更の可能性アリ)
問 洲本吹奏楽団　担当:おきた
☎090-1583-1746

第7回 Fresh Concert マテウシュ・クシジョフスキ ピアノコンサート

１ｓｔ prize：マテウシュ･クシジョフスキ
特別出演：岸本紗耶
1部/地元演奏者
マスタークラス：石田桃子
フレッシュクラス：平田知大､池谷芽衣
はぐくむクラス：衣川綾乃､清水くるみ
日 3月21日(火・祝)　開場 12:30
1部 13:00　2部 14:00
会 文化ホール『しばえもん座』
¥ 全席指定　S席￥3,000　A席￥2,000
(当日￥500増)※未就学児の入場はご遠慮下さい。
(親子ルーム2,000円をご利用ください。)
問 問い合わせ･チケット取扱
☎0799-22-3264　(中村)
　090-1583-4696(中村)
(洲本市文化体育館でも販売中)

◆淡路市立しづかホール

所 〒656-2132淡路市志筑新島5-4
☎ 0799-62-2001　F 0799-62-6465
Mail：info@shizukahall.com
休 火曜日

Pianoメンテナンス公開講座

メンテナンス時、フルコンサートピアノの部品を全て取り外します。その様子を、皆様に見ていただける公開講座！普段は見ることのできないピアノの姿を一緒に見ながら学びませんか。
日 3月12日（日）10：00開場　10：30開演
¥ 無料（※事前申し込みが必要）

JAZZ DANCE教室

子供から大人まで、初心者でも大歓迎。一緒に楽しくDANCEしましょう。
※初回体験無料　随時募集中
日 3月10日(金)・17日(金)・24日(金)
キッズ(～小学生)：17:00～18:30
フリー(中学生～)：18:30～20:00
¥ キッズ　3,150円(月3回)
　フリー　3,300円(月3回)
　　or　都度払い1,200円
申 問 淡路市立しづかホール
☎0799-62-2001
MAIL: info@shizukahall.com

◆淡路島国営明石海峡公園

所 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10
☎ 0799-72-2000 F 0799-72-2100

早咲き桜まつり

河津桜の見ごろに合わせて、期間中の土日に、クラフト体験などを開催。
日 2月25日(土)～3月12日(日)
¥ 参加費はイベントにより異なる
　※別途入園料、駐車料金必要

春のカーニバル

桜、チューリップ、ラナンキュラス、ネモフィラ、リビングストンデージー、ゴデチアなどのお花が順番に咲く「春のフラワーリレー」に合わせて、期間中の土日祝には、様々なイベントを開催。
日 3月18日(土)～5月14日(日)
¥ 参加費はイベントにより異なる
　※別途入園料、駐車料金必要

◆淡路人形座公演案内

所 656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先
☎ 0799-52-0260 F 0799-52-3072
Mail ： awajiningyo@gmail.com

定 時 公 演

淡路人形をまるごと（バックステージ・神事・人形浄瑠璃）を体感しよう！

3月3日(金)～21日(火)
「バックステージ」・「人形解説」・「戎舞」
時 10:00～、15:00～
「人形解説」・「玉藻前曦袂　神泉苑の段」
時 11:10～、13:30～
3月18日(土)～21日(火)
「人形解説」・「一谷嫩軍記　須磨浦組打の段」
時 11:10～のみ
3月23日(木)～31日(金)
「バックステージ」・「人形解説」・「戎舞」
時 10:00～、15:00～
「人形解説」・「日高川入相花王　渡し場の段」
時 11:10～、13:30～
¥ 大人　1,800円　中高生1,300円
　小学生1,000円　幼児　　300円
※上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

淡路人形座へご来座されるお客様へのお知らせとお願い

国及び自治体の定める新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づいて、感染予防処置を実施しております。お客様にはマスクの着用、手指の消毒、検温の実施等へのご協力をお願い申し上げます。

〔定時公演〕
時 10:00、11:10、13:30、15:00
【3月の休館日】
3月1日（水）、2日（木）、8日（水）、15日（水）、16日（木）、22日（水）、29日（水）
問 淡路人形座

インフォメーション

ご　注　意

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いします。

◆淡路文化会館

所 〒656-1521 淡路市多賀600
☎0799-85-1391　F 0799-85-0400
時 9:00～17:00　¥ 観覧無料

今月の美術展示

〔令和４年度淡路日本画セミナー修了作品展〕

県立淡路文化会館で行われている「淡路日本画セミナー」の受講生が、兵庫県日本画家連盟会員　栗村　浩史（くりむら　ひろし）氏の指導の下、本年度の講座で学んだ日本画の成果を作品として発表します。

日 3月10日(金)9:00～3月22日(水)15:00
時 9:00～１７:00
会 美術展示室・県民ギャラリー

◆淡路文化会館◆

パッチワーク講座　受講生募集中

多数のご参加お待ちしております。

◆兵庫県立淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館

所 〒656-2306 淡路市夢舞台4
☎ 0799-74-1200 F 0799-74-1201
時 10:00～18:00
(最終入館は閉館の30分前)

特別展　「蘭・あわじオーキッド フェスティバル 2023」

日 1月21日(土)～3月12日(日)
時 10:00～18:00
¥ 入館料　一般1,500円、70歳以上750円、高校生以下無料
※70歳以上は、生年月日記載の証明提示

兵庫ラン展　「愛好家たちの ランコレクション」

日 2月6日(月)～3月12日(日)
・明石ラン会　・播磨ラン会
・姫路ラン会　・関西洋蘭原種保存会
・淡路蘭友会
・K.T.S.カトレヤ原種愛好会
※それぞれの出展日はHPなどでご確認くださいませ。
¥ 入館料　一般1,500円、70歳以上750円、高校生以下無料
※70歳以上は、生年月日記載の証明提示

特別夜間開館　「蘭と光の展示」

※3月12日(日)までの金・土・日・祝日は21：00まで！（最終受付20：00）
¥ 入館料　一般1,500円、70歳以上750円、高校生以下無料
※70歳以上は、生年月日記載の証明提示

◆洲本市民交流センター

所 〒656-0054 洲本市宇原1788-1
☎ 0799-24-4450　F 0799-24-4452
休 月曜日休館　時 9:00～21:00

学 生 書 作 展

日 3月2日（木）9:00～3月28日(火)21:00
¥ 観覧無料
問 洲本市民交流センター
☎0799-24-4450

◆淡路市立サンシャインホール

所 〒656-2305 淡路市浦148-1
☎ 0799-74-0250　F 0799-74-0256
時 10:00～18:30
休 毎週木曜日及び祝日の翌平日

バックステージツアー

サンシャインホールの舞台・音響・照明などの設備を操作する、普段は入れない裏側のお仕事を体験してみませんか。

日 3月12日(日)　①11:00～12:30
　　②14:00～15:30
¥ 無料(定員15名)
※３月１０日（金）受付締切り

ふだんぎコンサート 2023

サンシャインホールを応援してくださる方々のコンサート。

ジャンルは様々ですが生演奏の音楽をお楽しみください。　¥ 入場無料

日 3月19日(日)13：30開場14：00開演
出演　七海先生と和太鼓教室のメンバー
予定　凛々倶楽部（ハンドベル演奏）
　　サンシャイン少年少女合唱団
　　ショコラ（バンド演奏）

編集だより

春になり暖かくなってくると咲き乱れてくる桜は、春の代表ともいえるような樹木です。

凛とした潔さや儚さを感じさせる桜には、お城が造られた時代の武家の栄衰や精神が感じられます。

また、川沿いに植えられた桜には、お花見で人を集め地面が踏み固められることにより土手の決壊を防ぐなど、人を集める不思議な力も感じられます。

お城の時代背景に思いを馳せながら、きれいな桜を楽しんでみるのもいいかもしれないですね。　《　編集室　》

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,500部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしくお願いします。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載していますので、こちらも是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊　淡路文化会館　淡路文化会館運営協議会
〒656-1521淡路市多賀600
☎0799-85-1391　F 0799-85-0400
E-mail：a-pocket@hyogo-ikigai.or.jp
Ｈ　Ｐ　：https://www.awaji-bunkakaikan.jp/

私たちはポケットあわじを応援します。

夢あるくらしのパートナー 淡陽信用組合

一般財団法人 淡路島くにうみ協会 Awaji Island Kuniumi Association

今日も　楽しい　おつきあい 淡路信用金庫